

すぎもり No22 だより 地区協議会

令和7年(2025年)1月

No22

地区協議会



10月26日(土)すぎもり地区協議会防災訓練



新年のご挨拶

すぎもり地区協議会の活動も11年目を迎えました。ようやく地域の皆様に防災、防犯の活動が浸透したようです。日頃からのご支援ご協力を頂きありがとうございます。

すぎもり地区協議会会長
中島俊子



『高めよう! 防災力!!』

地域でつながり災害対策

地域とともに



調布市立第三中学校 副校長 岡本明久

今年度、4月より江戸川区立二之江中学校より着任いたしました岡本明久と申します。調布市での勤務は初めてとなりますが、調布市に住んで25年となりました。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、着任当初、4月27日(土)の調布市防災教育の日に行われた取り組みを経験させていただきました。地域の皆さんをはじめ多くの市民、関係者とともに活動に携わることができ、大変嬉しく思っております。また近年、全国各地で発生している自然災害は、頻発化、広域化、さらには激甚化しており、多くの災害が発生しております。その状況下において調布市は以前からこれだけの防災に対する高い意識をもって取り組みを継続的に行うことができているのはひとえに地域の皆様のおかげだと感じております。改めて地域の皆様とともに連携し、一丸となって素晴らしい防災教育を行えるよう、また地域の発展と調布市の教育の充実のため、全力で努めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

もてる力を 子どもたちのために



調布市立杉森小学校 副校長 石津孝介

今年度4月より杉森小学校副校長に着任いたしました、石津 孝介と申します。

日頃より、杉森地区の皆様には学校の教育活動にご理解・ご協力いただきましてありがとうございます。

杉森小学校に着任して約半年、その間に防災教育の日・納涼祭(今年度は残念ながら中止となりました)・地域運動会・防災訓練と、杉森地区で長年行われている取組に関わり、皆様の子どもたちへの熱い思いに圧倒されました。こんな地域に暮らし成長する子どもたちは、本当に幸せだろうと思います。学校も、皆様の熱意に負けず、精一杯のことをしていきたいと考えています。

まだまだ不慣れではありますが、杉森地区の子どもたちのため、力を尽くしてまいります。引き続きよろしくお願いいたします。

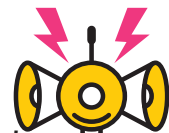


ホームページアドレス <http://sugimori.net>

✉ chikukyo@sugimori.net

10/26
(土)

第9回すぎもり地区協議会防災訓練



3・4年生を対象に訓練・体験を行い、保護者や地域の方々も参観・参加しました。II

担架搬送訓練



結構重たい・・・4人で息を合わせて運びます

応急手当訓練



バンダナを使ってケガの手当

通報訓練



自分の住所・火事の場所、正しく伝えられますか

初期消火訓練



慌てずに、きちんと消火することが大事

ガスパワー発電機体験



カセットガスボンベ2本+エンジンオイルで発電OK。「勢いよく引っ張る!」



うれしいお話

～去年も訓練に参加した児童より～

実際に自宅でお母さんが倒れてしまった時に救急車を呼ぶことになり、そこでちゃんと現状をつたえることができました! と話してくれたそうです。(お母さんも無事)訓練は大事ですね!

AED 取扱い訓練



みんな真剣に聞いて、いざ実践!

煙体験



口・鼻を覆って、しゃがんで移動する

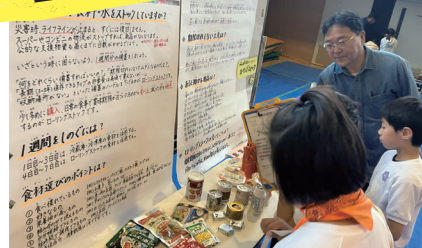
テント型の間仕切り



約4人家族用。コンパクト設計。

中は煙で何も見えない、息苦しいよ

ローリングストック展示



おうちの備えはどうか?

簡易トイレ展示



ご家庭でストックしていますか?



調布市消防団第7分団の皆さま
左から、深津さん・土方さん・榎本さん・今野さん・早坂さん



調布消防署国領出張所の皆さま
左から、小野さん・稲葉さん・渡邊さん・島貫さん・匂坂所長・古保さん・塚原さん・眞見さん

【協力】 調布消防署国領出張所、調布市消防団第7分団、防火女性の会、杉森地区連合会
健全育成推進杉森地区委員会、杉森小学校開放委員会、杉森小学校 PTA、
は棟管理組合、八八俱樂部、杉風、民生委員、地域コーディネーターの皆さま

ご協力ありがとうございました

「そなエリア東京臨海広域防災公園」見学レポート

会長 中島 俊子

11月2日に東京臨海広域防災公園の視察に行きました。ここは首都圏で大規模地震等が発生した時に国や地方公共団体等の緊急災害現地対策本部が設置され、広域的指令機能を受け持つ場所となります。地震が起きた際、生き抜く為にどのように行動すればいいの、また地震に備えて準備しておく物など、地震についての知識や知恵を学ぶ事が出来ます。実際に震度7の首都直下地震から避難までを体験したり、「防災クイズ」にも挑戦し、生き抜く知恵を学ぶ体験学習は有意義な見学でした。



10/20
(日)

いそげ!
いそげ!

杉森地域運動会 地区協競技・急げお助け担架!

不安定な秋空が続く中、当日はお天気に恵まれて開催された杉森地域運動会。

防災訓練で実施している担架搬送訓練をモチーフにした「急げお助け担架!」の競技では、意外と重たい「たろう君」たちに悪戦苦闘しながらも大盛り上がりでした。景品に、防災グッズとして「おでん缶」や「非常用ビスケット」等を提供しました。



10周年を迎え 市政功労者として表彰されました

調布市では毎年秋に、市民生活や文化の向上に貢献した方、スポーツなどで活躍した方を市政功労者として表彰しています。杉森地区協議会は10周年の功績を称えられ、「社会福祉功労」の表彰状と記念品をいただきました。



運営委員を募集しております。
ご一緒に活動しませんか。



連載 防災コラム

備えあれば ⑫

時間が長く、降水量が少ない瀬戸内特有の温暖な気候です。他県に比べて自然災害による被害額が少ないのも特徴ですが、昨今は南海トラフ巨大地震が想定される中、県民の防災意識が高まってきたように感じます。

■11月7日 全国初、県内の自主防災組織と企業が

災害時復旧などで連携する協定を締結

協定は地域防災の広域連携に取り組む「かがわ自主ぼう連絡協議会」と県内28の企業と企業がある地域の18の自主防災組織によって結ばれ、防災訓練への参加・食料の備蓄・防災グッズの整備・災害時の復旧作業を連携して行うことになっています。

県によると、複数の企業と自主防災組織が横断的に協定を結ぶのは全国初で、今後も賛同する企業を増やしたい意向とのことです。また「かがわ自主ぼう連絡協議会」の代表は「災害時に企業が持つ機材やスペースを活用させてもらい、活動が展開しやすくなることを期待している」と話していました。

地域で連携 防災士 加藤洋子

今回は私が2拠点生活をしている香川県の地域防災について、最近の話題を紹介します。

■11月8日 災害時に移動式コンテナホテルを活用

坂出市と運営会社が協定を締結

協定は県中部に位置する坂出市と移動式コンテナホテルの運営会社との間で結ばれました。協定では大規模災害が発生した際、さまざまな理由で避難所で過ごせない被災者のための避難先として、また災害対応のため派遣される職員の宿泊先として、市に移動式コンテナホテルを優先的に提供することが定められています。

普段はビジネスや観光の拠点としての用途で使われる移動式コンテナホテル、1室の広さは13平方メートルでベッドやユニットバスなどを備え、必要に応じてトレーラーで他の場所に運んで利用することが可能です。

このようにどこの地域においても、縦の繋がりに加えて横の連携も視野に入れて、事前に備えていくことが大事だと思います。



地域のお知らせ

おもしろあそび

2025年1月12日(日)

主催：子ども会(申込制)

会場：杉森小学校校庭(雨天中止)



獅子舞や和太鼓の披露、お正月ならではのコマやけん玉遊びやストラックアウトなどみんなで体験遊びができます。

4地区合同マラソン大会

2月2日(日)

主催：4地区健全育成委員会

会場：多摩川河川敷



寒さに負けず、小学生が元気に走ります！

※事前申込制、詳細は別途連絡あります。

まち活フェスタ

3月2日(日)

会場：市民プラザあくろす・国領駅前広場

すぎもり地区協議会は、今年もやきそばの店を出店します！



調布市立第三中学校吹奏楽部

第22回定期演奏会

3月26日(水)

会場：調布市グリーンホール

開演：17:30



生活の相談、ボランティア・地域活動の相談等は

「調布市社会福祉協議会」の地域担当へ

調布市社会福祉協議会は、様々な事業を展開しています。

そのうち、住民同士の交流の場づくりを支援する「ひだまりサロン事業」についてご紹介します。市内には現在93のサロンが登録されており、今回は、染地ふれあいの家で開催している『染地ふれあいサロン』を取り上げます！

染地ふれあいサロン

和やかな雰囲気の中、コーヒーとお菓子を食べながらのおしゃべり、軽い体操、誕生日の方へのお祝いの歌をみんなで歌う時間、毎月違う催し物(音楽会・手作り会など)、ピアノ伴奏に合わせて合唱などを行っています。年齢に関係なく交流できる地域の誰もが集える憩いの場です。



サロン名	染地ふれあいサロン
日 時	毎月第三水曜日 13:30～15:30
場 所	染地ふれあいの家(染地3丁目8番地26)
問い合わせ	地域支援係ひだまりサロン担当 ☎042-481-7693

このサロンの他にも、いろんな種類の活動があります。参加したい、ボランティアしたい、活動を立ち上げたいなどのご相談は地域担当までご連絡ください。

【地域担当】

- 染地地域福祉センター内 染地ボランティアコーナー

☎042-481-3790 火～土 9時～17時

ボランティアコーディネーター 渡邊 久美子

- 調布市総合福祉センター内 地域支援係(染地・杉森・布田小エリア担当)

☎042-481-7693

月～金 8時30分～17時30分

地域福祉コーディネーター 中村 竜

地域支援係推進員 高島 有美



渡邊



中村



たかはたけ 高 島

福祉や介護に関する相談等は…

「調布市地域包括支援センターときわぎ国領」へ

高齢の方やそのご家族が、地域で安心して暮らせるよう、福祉や介護に関する様々な相談ができる総合相談窓口として調布市から委託を受けている機関です。担当地区は、染地、国領町6・7丁目、布田5・6丁目、多摩川6・7丁目です。お電話での相談や、状況に応じて職員がご自宅に訪問することもでき、介護保険の申請や適切なサービス等をご案内しております。困った時にはお気軽にご相談ください。

所在地:国領町7-32-2 デュスモン国領101

電話:050-5540-0860

開所:月～土 9時～18時 夜間及び日曜は転送電話対応



ぜひお越しください「ケアラーカフェ in 染地」

染地地域福祉センターにて2ヶ月に1回、家族介護者が集うケアラーカフェを開催しております。介護の思い出、介護をしている大変さ、今後の不安など、お茶を飲みながら自由におしゃべりできる場所です。当センターの認知症地域支援推進員や介護経験のある地域ボランティアがお待ちしております。一緒にお話しませんか？どなたでもお気軽にご参加ください。



日時	令和7年1月20日(月) 13:30～15:00
場所	染地地域福祉センター
申込み	不要 直接会場にお越しください

参加費
無料